

春

- 1 窓の開閉は自由に存分に外気を取り入れる。

雨期は湿気を入れないよう、窓の開閉は少し注意

ポイント

外が暖かいのに室内が寒く感じることもある。

夏

- 1 日射を入れない、外で遮蔽をする。
- 2 通風、上下+水平方向で行う。
- 3 夜間通風・蓄冷は効果的
- 4 留守中も通風を忘れずに! 窓を開けて外出する。
- 5 浴槽の水は入浴後捨てる
- 6 浴槽の窓を開放し、外に蒸気を排出する。
室内扉は閉める。
- 7 冷房装置は熱源とファンユニットは別々のスイッチ
です。ファンユニットOFFの時には熱源もOFFしてく
ださい。
- 8 冷水温度の設定

10°C ~ 15°C ~ 18°C

ポイント

光を入れない
湿気を外に出す
夜間冷却を活用して、朝窓を閉め・・・我慢できるところまで。
限界を感じたら窓を開け、通風をする。
耐えられない期間は冷房を使用する。
冷房時の冷水設定温度は室温に近いほど快適度が高い

秋

- 1 窓の開閉は自由に存分に外気を取り入れる。

冬

- 1 暖房室内温度 20°C ~ **22°C** ~ 24°C
- 2 ヒートポンプ設定温度 25°C ~ **36°C** ~ 45°C
- 3 ヒータのサーモバルブ II ~ III ~ IV
- 4 換気の運転モード I ~ II ~ III
- 5 薪ストーブ
レンジフードを運転するときは逆流に要注意!
・・・煙・灰が逆流!
キッチンの窓少しを開けると良い

ポイント

暖房の開始時期は遅くなる傾向
夏の熱の蓄えがあるので遅くて良い。

ポイント

室内温度が18°C以下にはならない。保存食に注意!
相対湿度が40%以下になる。
温度・湿度の出るモノは積極的に活用、
風呂の残り湯は捨てない。
洗濯物の室内乾し。